

## マス・フェスタ(全国数学生徒研究発表会)訪問記

生徒の行う研究活動といえば、まだまだ数学以外の分野が扱われることが多いのが現状です。そんな中、数学に特化した研究発表会が大阪で行われていると知り、8月22日に行ってきました。

### 1 マス・フェスタについて

「マス・フェスタ(全国数学生徒研究発表会)」は大阪府立大手前高等学校がSSH重点事業の一つとして行っているものです。

大手前高校は平成20年度に文部科学省よりSSHの指定を受け、現在2期目の指定を受けて活動を行っています。特に2期目においては科学技術人材育成重点校の指定も受け、『数学』の分野に特化した能力開発プログラムの共同開発研究に取り組んでいます。マス・フェスタは平成21年度に大阪府内の4校で実施されたのが始まりで、今年で7回目となります。現在では全国から多くのSSH校が参加する発表会となっています。

### 2 口頭発表について

マス・フェスタのメインは口頭発表です。参加校が各校1件ずつ、PowerPointを使って発表を行います。

1校の発表時間は質疑応答も含め15分です。質疑応答では時間が足りなくなるほど、活発なやり取りが行われていました。理科も交えての発表会だと数学の研究発表に対してはあまり質問が出なかったりもするのですが、さすがにここは「数学好き」の集まりだけあって、質疑応答も盛り上がっていました。

また、発表会場には指導助言を行う先生がいて、各発表ごとに講評としての確かなアドバイスが行われていました。

参加校が多かったので、発表は5会場で、午前と午後に分かれて行われました。発表ごとに会場を移動することも可能だったので、自

分の興味ある発表を聴くために、出入りする生徒もたくさんいました。



### 3 ポスター発表について

口頭発表に続いて、ポスター発表も行われました。60件以上のポスターについては、口頭発表を行った研究はもちろん、口頭発表を行わなかった研究の発表もありました。口頭発表は「各校1件」という制限がありましたが、ポスター発表には制限がないので、1校で複数の発表を行っている学校も多かったです。

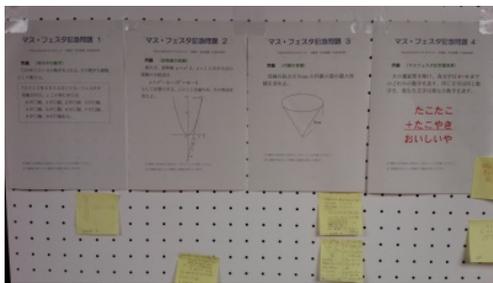


50分間の発表時間でしたが、いたるところで発表生徒と聴く生徒、引率教員、指導助言の先生の間で、研究についてのやり取りが行われていました。唯一残念だったことは、ポスター発表の時間が50分通しであったため一人で発表を行っている生徒はその間ずっとポ

スターの前にはなくてはならず、他の生徒の発表を聴きに行くことができなかつたことです。発表時間を前後半に分けるなどして、すべての生徒に発表するだけでなく、発表を聴きに行く機会を設けられるとよかつたと思います。

#### 4 こんなものも…

会場には写真のような「マス・フェスタ記念問題」なるものが用意されていました。



これは久留米高専の先生が用意して下さったものです。生徒はこれらの問題の解答案を付箋に書き、それを問題のそばに貼っていきます。掲示場所の前では、多くの生徒が問題を解く姿が見られました。

この記念問題の生徒の解答案については出題者である久留米高専の先生が持ち帰り、後日解答と講評を示してくださいました。また、出題者の先生が良いと思った解答をした生徒には、記念品も贈られたそうです。

#### 5 終わりに

この「マス・フェスタ」の運営に当たられていた大手前高校の金先生にお話を伺いました。

「今年は北は青森、南は沖縄と全国から46校が集まりました。マス・フェスタを始めた当初は大阪府内の高校数校で行っていたのですが、ここ2年くらいで参加校が急激に増え

ています。発表者も高校生が中心ですが、中学1年生の発表者もおりましたし、内容も身近な事象をテーマにしているものから、高校数学の範囲を超える高度なものまで多岐にわたっています。SSH校でなくても参加や見学は可能ですので、ぜひこのような発表会が行われていることをアピールしてください。」

高校生の研究発表会といえば千葉県内でも行われておりますが、理科等の発表が多く、数学の発表は若干肩身が狭いのが現状です。県内の高校生にも「数学好き」はたくさんいると思います。県外の発表会ではありますが、このような発表会をきっかけに、千葉県でも数学の分野で研究活動を行う高校生が増えるとよいと考えています。

なお、今年度の「マス・フェスタ」の報告書が、大手前高校のWebページ\*に掲載されております。

もし、興味・関心のある先生方がいらっしゃいましたら、ご覧になってみてください。



【編集委員会】

\*[http://www.otemae-hs.ed.jp/ssh/sshpdf/2015mathfesta\\_report.pdf](http://www.otemae-hs.ed.jp/ssh/sshpdf/2015mathfesta_report.pdf)